

# かがやき 杉十小CS 通信

杉並区立杉並第十小学校 学校運営協議会 広報誌

NO.3  
令和2年3月

CONTENTS—主な記事—  
学校の棚卸しプロジェクト始動!  
CSコラボイベント紹介  
その他、活動報告

杉並第十小学校はコミュニティ・スクール(CS)として  
安心・安全『かがやき』の学校を目指しています。



# 学校の

# 棚卸しプロジェクト始動!



杉並区教育委員会では、令和元年を『棚卸し元年』と位置付けて、保護者や地域の皆さんと共に、学校の当たり前を見直していこう!という取り組みを推進しています。「これまでの学校」を総点検(棚卸し)することを通して、「これからの学校」の在り方を展望することが目的です。

杉十小CSでは、昨年度開催した第1回CSカフェ(CS委員と教職員との対話の場)で「棚卸しカフェ(不要なものを削り、取捨選択をして有効的な時間を創る)をやってみたい。」という意見が既に出ていました。教職員が様々な教育活動をその意義に納得して且つ効率的に行うことができることをゴールに設定し、杉十CS棚卸し『教職員のもやもやを集めて解消しよう!』プロジェクトがスタートしました。

杉十小ならではの「学校の棚卸し」です。



5月

杉十CS棚卸しの方法として「もやもやリスト」を作成することを決定。

7月

記入用紙「もやもやシート」を教職員に配布。

8月

もやもやシートを回収・集計して「もやもやリスト」を作成。

10月

CS委員全員で「もやもやリスト」を確認し、回答者を協議。

11月

「もやもやリスト」の回答を作成。CS委員全員で回答内容を確認。

12月

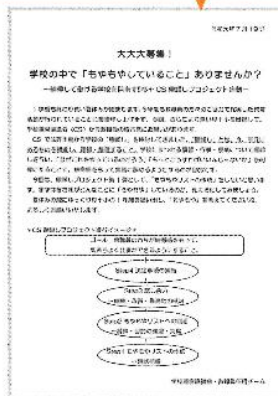
「もやもやリスト」の回答方法・運用方法を協議。もやもやリスト回答書を教職員に開示。

1月

学校評価・学力向上アイデア会議・学校関係者評価の指標として活用。

2月

第4回CSカフェ「もやもやリスト」から学力向上策について、みんなで意見交換。



教員との打合せ

## 先生インタビュー

### 教務主任

「もやもやリスト」に記入すること、それはかなり勇気があることでした。これまで続けてこれたことは、その学校の校風や特色、そして伝統に繋がっているからです。情報化、グローバル化が超高速で進む現代社会。子供たちも新しいことにどんどん挑戦して前に進んでいきます。でも、ちょっと立ち止まって後ろを振り返ったり、自分が歩いている道をしっかり見つめたりすることも、今の時代だからこそ大切な経験だと思っています。全教職員そしてCS委員の皆さんと意見を交流し合えたことは、私にとってこれまでの様々な教育活動の価値を見つめ直し、再発見することができた貴重な機会でした。杉十小の目標「子どもが輝く学校」…子供たちが「今」を十分に味わい、大きく伸びていってほしい。そのために本当に必要なことは何なのか。皆さんと共に考え、「これからの杉十小」を創造していけることを楽しみにしています。

### CS担当教員

今回のもやもやリスト作成により、今まで曖昧になっていた教育活動のねらいや背景がはっきりと見えられました。各教員が各活動を、今まで以上に教育的意義・効果を意識して実践できるようになったと感じています。社会が目まぐるしく変化していく現代では、その変化に応じて教育も姿を変えていく必要があります。変化が激しくなってきたからこそ、今行っている教育が「これからの時代を生きる子供たちのため」のものとなっているかを、その都度確認していかなければならないと感じています。このリストが、子供たちが今後どういった社会を生き、どういった世界を作っていくのか、時代に合った教育とはどういったものなのか、学校と地域が一体となって考えていくきっかけになればと期待しています。

## すぎなみ教育シンポジウム2019

杉並区教育委員会が主催する「すぎなみ教育シンポジウム2019」が12月14日(土)に桃井第二小学校にて開催されました。

今年度のテーマは「学校の棚卸し」。杉並区内の小中学校の教職員、CS委員、学校支援本部、スクールソーシャルワーカー、PTA保護者など、普段から杉並区の教育に関わっている総勢280名もの参加者が集まり、これからの学校の在り方について考えました。

第一部では、区内の学校で始まっている「棚卸し」の実践事例の紹介を兼ねたパネルディスカッション。本校CSの山ノ内委員がパネラーとして登壇し、杉十小で進めている学校の

棚卸し「教職員のもやもやを集めて解消するもやもやリストづくり」を紹介しました。

第二部では、自分たちの学校でそれぞれの立場から見直してみたい慣習・行事・事業は何だろう?という観点から意見交換をするグループワークを行い、これからの教育を考えるヒントやきっかけがたくさん生まれました。

次世代を生きていく子供たちのために何が必要で何を見直すべきか。時代に適合した学びや学校生活を実現するための学校棚卸し。学校、保護者、地域が共に理解し合い、子供たちのために取り組んでいくことが重要です。



第一部 シンポジウム



第二部 グループワーク



## 杉十小の『安心・安全』について、 すべてがわかるデジタル紙芝居が近日完成!

杉十小の教育目標でもある「安心・安全」について、皆さんはどれくらい知っていますか?

学校では、日頃の授業や学校行事など様々なイベントを通じて杉十小の安心・安全を皆さんに知ってもらえるよう活動していますが、もっと持続的かつ普遍的に広く周知していくにはどうすればよいかを杉十小CSで考えました。そこで「デジタル紙芝居」を作成することにしました。

杉十小は、経済発展による空気汚染や騒音から子供たちを守るために、現センオン杉並のある環状七号線沿いの場所から蚕糸試験場があった現在の場所に学校を移転した歴史が

あります。学校防災公園として建設された蚕糸の森公園の中に新設された杉十小には門も塀もなく、地域の方々の協力や多くの工夫によって、杉十小の子供たちの安心・安全は守られています。そういった杉十小の稀有な歴史や背景、これまでの取り組みを子供たちだけでなく保護者や地域の方々にもわかりやすく知ってもらうツールとして、デジタル紙芝居を活用していくと考えています。

令和2年度から活用できるよう、現在制作中です。どうぞお楽しみに!!



12月20日

## CSコラボイベント ①

## オリンピック・パラリンピック教育 推進事業『未来は自分で創る』

12月20日の3~4校時に、オリンピック・パラリンピック教育イベントが開催されました。

東京2020パラリンピックのマラソン競技に日本代表として出場が内定している鈴木朋樹選手(トヨタ自動車所属)が講師として来校し、全校児童と交流しました。

車椅子マラソンに関するクイズ大会やトークセッション、競技用車椅子の乗車体験など、イベントは大いに盛り上がり、子供たちのパラリンピックに対する興味や理解を深めることができました。

鈴木選手の座右の銘は「未来は自分で創る」。杉十小の子供たちにも未来を自分で創ることの大切さが伝わった貴重な一日でした。

杉十小は東京2020パラリンピックでの鈴木選手の活躍を応援します!!



競技用車椅子って  
カッコいい!



イベント最後は全員で記念撮影



司会進行は杉十小CSの山ノ内委員

11月27日

## CSコラボイベント ②

## 絵本作家による読み聞かせ& すごろく『おまつりおばけめぐり』

11月27日に、読書月間イベントとして3年生の授業のなかで絵本作家による読み聞かせが行われました。

杉十小CSの伊東会長の元教え子でもある絵本作家の本山浩子さんが来校し、著書である絵本「おまつりおばけめぐり」を3年生それぞれのクラスで読み聞かせしてくれました。

内容は、おまつりおばけとともに日本各地の楽しいおまつりをめぐるお話で、杉十小の子供たちにも馴染み深い徳島の阿波踊りも紹介されています。更に、絵本カバーの裏側がすごろくになっていて、読み聞かせの後はグループにわかれて「おまつりすごろく」をして楽しみました。



みんな真剣に聞き入っていました



お話の後はすごろくで  
大盛り上がり



伊東会長による作家紹介



本山浩子(作・絵)  
赤ちゃんとママ社

## 杉並区教職員表彰

主任教諭が、CS担当教員としての活躍を認められ、杉並区から表彰されました。

先生は昨年度より蚕糸の森研究所の6年生授業において、児童とCS委員の対話形式の授業「6年生版CSカフェ」を企画実行し、地域の方々と直接意見交換する機会を通して子供たちが杉十小や地域の未来について学んだり考えたりする画期的な授業を展開しています。

# 具現化していく「地域と共にある学校」



## 自分らしさを生かして対話する

校長  
山口 京子

杉十CSは第1期(2年間)を終え、令和元年10月から第2期に入りました。第2期からは新メンバーも加わり、さらにパワーアップ。この間杉十CSがいつも大切にしてきたことは「自分らしさを生かして対話すること」です。CS委員同士はもちろん、CS委員と児童、CS委員と教職員、CS委員とPTA役員、CS委員と卒業生…。その場に集まった人それぞれが「自分らしさを生かして対話すること」により、アイデアが生まれ、実現できました。かがやき通信Vol.3も、対話から生まれたアイデアや実現できたことで溢れています。これからも、杉十CSらしさを生かし、まじめにおしゃべりしていきたいと思っています。どうか、皆さんもまじめなおしゃべりに参加してください。



## 知恵を集めるCS

会長  
伊東 富士雄

委員と先生方の知恵を集めて学校づくりを前進させる。そんな委員の思いや願いが具体化された姿を多く見ることのできる1年でした。杉十カフェの実施(2回)、蚕糸の森研究所の教材作り・研究授業の参観・協議会への参加(6回)、学校の棚卸しでの「もやもやリスト」の作成と回答、安全対策の歴史を伝えるための電子紙芝居製作などです。委員会が独走するのではなく「先生方と共に」ということを視野に入れて活動できたことが成果だと思います。

# 令和元年度活動報告

## 学校運営協議会会議

- 4月24日 第1回開催(令和元年度学校経営計画の共有、杉十CSの棚卸し・第3回CSカフェの計画)
- 5月22日 第2回開催(第3回CSカフェ「新たな視点や協働の可能性を”一人一人”が現実を持ち帰ろう!」)
- 6月27日 第3回開催(杉十CS棚卸し「もやもやリストをつくろう!」)
- 7月18日 第4回開催(杉十CS棚卸し「もやもやシートの配布について」、杉十小安全のための取り組みについて)
- 9月10日 第5回開催(杉十CS棚卸し「もやもやリスト」の確認、「安全のためのデジタル紙芝居」絵コンテ提案)
- 10月7日 第6回開催(人事構想について、杉十CS棚卸し「もやもやリスト」回答者決定、「安全のためのデジタル紙芝居」台本提案)
- 11月16日 第7回開催(展覧会参観、杉十CS棚卸し「もやもやリスト」回答確認・整理、「安全のためのデジタル紙芝居」台本確認)
- 12月3日 第8回開催(杉十CS棚卸し「もやもやリスト」回答の共有方法検討、「安全のためのデジタル紙芝居」台本読み合わせ)
- 1月27日 第9回開催(令和元年度学校関係者評価、教育調査について)
- 2月19日 第10回開催(第4回CSカフェ「学力向上策(新かがやきの時間)を考えよう」～杉十CS棚卸しより、令和2年度学校経営計画について)
- 3月7日 第11回開催(土曜授業「蚕糸の森研究所 研究発表会」参観、令和2年度の活動に向けて)\*

## 蚕糸の森研究所 研究授業参画・参観と協議会参加

- 5月29日 蚕糸の森研究所 3年生研究授業『カイコ研究室』
- 6月26日 蚕糸の森研究所 2年生研究授業『花だん研究室』
- 9月11日 蚕糸の森研究所 6年生研究授業『蚕糸試験場研究室』
- 10月9日 蚕糸の森研究所 4年生研究授業『ウメ・クワ研究室』
- 11月27日 蚕糸の森研究所 1年生研究授業『しぜんあそび研究室』
- 12月11日 蚕糸の森研究所 5年生研究授業『防災研修室』

## CSコラボイベント

- 11月27日 絵本作家による読み聞かせ&すてろく(3年生授業)
- 12月20日 オリンピック・パラリンピック教育推進事業「未来は自分で創る」
- 1月30日 PTA家庭教育講座「杉十学区ならではの防犯について 学ぼう!」
- 3月2日 蚕糸の森研究所『蚕糸試験場研究室』講演会「蚕糸試験場からつながるカイコ研究ーカイコがつくる光るシルクとくすりー」(6年生授業)\*

## 研修会、他

- 7月3日 小中合同研修会(主催:高南中)
- 8月26日 小中一貫学力向上研修会(高南中にて)
- 9月18日 小中合同研修会(主催:杉十小)
- 10月8日 すぎなみ教育シンポジウム関連イベント講演会「学校の『当たり前』をやめた」(主催:杉並区教育委員会)
- 12月14日 すぎなみ教育シンポジウム(主催:杉並区教育委員会)
- 12月16日 地域とともにある学校づくり推進フォーラム(主催:文部科学省)
- 1月22日 小中合同研修会(主催:杉三小)
- 2月4日 学校運営協議会委員研修(主催:杉並区教育委員会)

\*新型コロナウイルス対応のため中止

## 新メンバー紹介 教職員任用チーム



長谷川 亜希子(はせがわ あきこ)  
平成30年度・令和元年度杉十小PTA会長  
杉十サッカークラブ保護者代表  
現役保護者

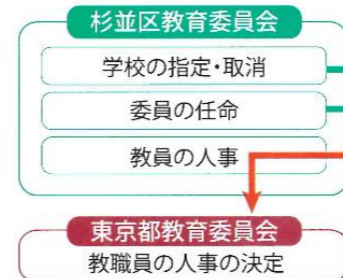
## 学校運営協議会委員紹介



- 学校運営チーム(写真上段左から)  
峯 礼子(前杉十小PTA会長)  
河野 庄次郎(杉十フレンズ本部長、前梅里一丁目町会会長)  
和田 智美(杉十小・高南中担当青少年委員)  
網川 紫(杉十フレンズ事務局長、杉十小PTA名誉会長)
- CS担当教員(写真上段右から)  
志達 和雄(和田三丁目東町会会長)  
伊東 富士雄(杉十小第17代校長)  
山口 京子(杉十小現校長)
- 基本方針チーム(写真下段左から)  
小池 晴(杉十サポーター会長)  
長谷川 亜希子(現杉十小PTA会長)  
鈴木 里栄(杉十小・和田中担当青少年委員)  
山ノ内 凜太郎(ファシリテーター)
- 教職員任用チーム(写真下段右から)

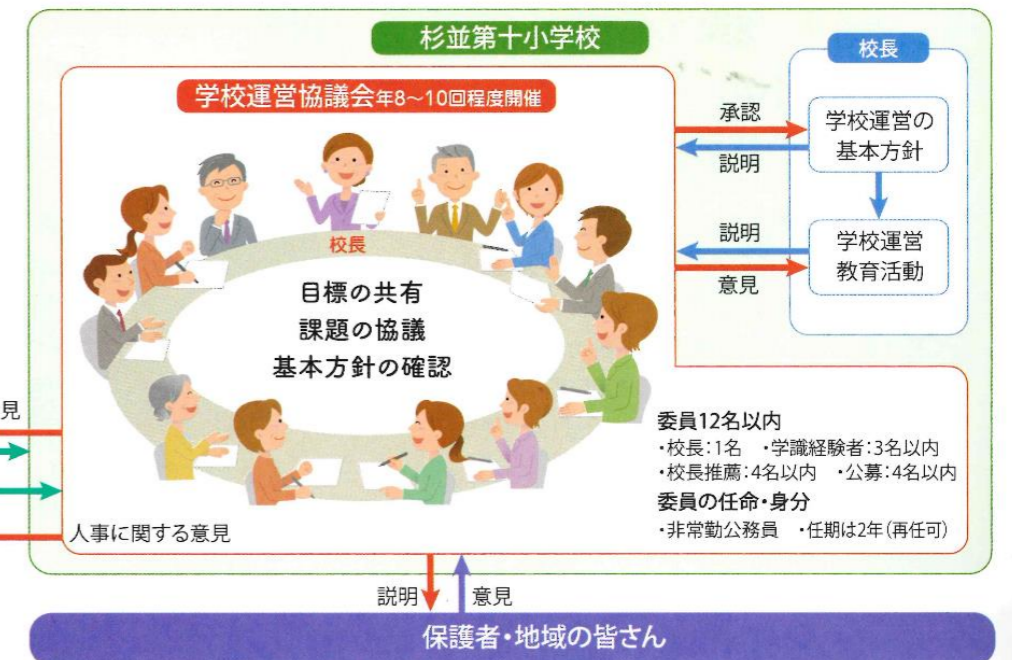
## CSとは? CS豆知識!!

コミュニティ・スクールとは、地域住民や保護者などから構成される「学校運営協議会」が当事者として学校運営に参画し、地域住民や保護者の意見を反映させながら学校と連携・協働し、特色ある学校づくりを実現していく制度を導入した学校のことです。子供たちの豊かな成長を支え、さらに子供たちの輝く未来への創造に向けて「地域とともにある学校づくり」を目指します。



学校運営協議会の主な役割は3つ! 杉十小CSはプロジェクトチームを組んで取り組んでいます。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができる。



『地域と共にある学校』～いいまちはいい学校をつくる。学校づくりはまちづくり～



杉並区立 杉並第十小学校 学校運営協議会  
〒166-0012 杉並区和田3丁目55番49号 TEL.03-3313-1364 FAX.03-3313-4961  
http://www.suginami-school.ed.jp/sugi10shou/

ご意見ください!  
CSフリーメール  
sugi10cs@yahoo.co.jp